PRESS RELEASE

2026 年 11 月 17 日

レイエイトエナジー株式会社

レイエイトエナジー、Second Foundation グループより高圧蓄電所 4 拠点(計 8.0MW/23.4MWh)の取得を完了 ― 全拠点が商業運転を開始

ロンドン証券取引所に上場するグローバル・オルタナティブ資産運用会社 ICG の出資を受け、日本全国で系統用蓄電池発電所の開発・長期保有・運営を行うレイエイトエナジー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役　田 智秀、以下「Ray8」)は、Second Foundation(本社:チェコ共和国プラハ、以下「SF」)グループより、日本国内の高圧系統用蓄電池発電所 4 拠点(合計出力 8.0MW/容量 23.4MWh)の取得を完了しましたので、お知らせいたします。本取得により、Ray8 は開発中案件に加えて稼働中の蓄電所ポートフォリオを保有することとなりました。

取得ポートフォリオの概要

発電所	所在地	系統エリア	運転開始
江津蓄電所	島根県江津市	中国	2026 年 3 月
三木蓄電所	兵庫県三木市	関西	2026 年 10 月
柏原蓄電所	兵庫県丹波市	関西	2026 年 10 月
都農蓄電所	宮崎県児湯郡都農町	九州	2026 年 11 月

4 拠点はすべて商業運転を開始しており、卸電力取引所(JEPX)での取引を行っています。また、電力需給調整力取引所(EPRX)が運営する需給調整市場(電力系統の安定維持に必要な調整力を取引する市場)への参加申請を完了しており、所定の審査を経て 2026 年末～2027 年に順次参加を予定しています。

本取引の意義

中国・関西・九州の 3 つの系統エリアにまたがる稼働中ポートフォリオの取得は、再生可能エネルギーの出力制御や系統混雑が顕在化するエリアにおいて、蓄電池による調整力の提供を直ちに開始できることを意味します。本取得は、特別高圧の大規模蓄電池案件の開発を主軸に、稼働資産への選択的な投資でこれを補完するという当社の戦略を体現するものであり、稼働資産の取得は、ポートフォリオの分散に加え、即時のキャッシュフロー創出と運用ノウハウの蓄積をもたらし、特別高圧の開発パイプラインと相互に補完し合います。Ray8 は、開発から保有・運営までを一貫して担う蓄電事業プラットフォームの構築を通じて、日本の電力システムの安定化と再生可能エネルギーの導入拡大に貢献してまいります。

Second Foundation グループとの協働

取得後も、SF グループは長期契約に基づき、アグリゲーターとして本ポートフォリオの日本の電力市場における運用最適化を担います。また、SF グループの関連会社である IQg 株式会社が、全 4 拠点の O&M(運転・保守)サービスを提供します。SF グループは欧州で実績を有する蓄電池運用・アグリゲーションのスペシャリストであり、日本市場においても安定した運用実績を挙げています。両社は本取引を協働の第一歩と位置づけ、今後、さらなる蓄電池案件の開発・取得における協働の可能性についても検討を進めてまいります。

コメント

レイエイトエナジー株式会社 代表取締役　田 智秀:

「本件により、当社の特別高圧開発パイプラインを補完する、堅固なファンダメンタルズを備えた良質な稼働資産が加わり、急成長する日本の蓄電池市場における当社のポジションが一層強化されます。Second Foundation と緊密に連携し、その深い市場知見を活かして、本プロジェクトの安定的かつ長期的なパフォーマンスを確実なものにしていくことを楽しみにしています。」

Second Foundation COO ミハル・スカルスキー(Michal Skalsky):

「本売却の完了は、Second Foundation の日本事業にとって重要なマイルストーンです。私たちはこれらのプロジェクトを予定どおり完工・引渡しし、ICG の出資を受ける日本の蓄電プラットフォームである Ray8 という、コミットメントの高いパートナーにお引き継ぎできることを嬉しく思います。長期アグリゲーターとして、進化する日本の電力市場においてこれらの蓄電所の価値を最大限に引き出すべく、引き続き取り組んでまいります。」

なお、本取引においては、Green Giraffe Advisory がアドバイザー兼アレンジャーを務めました。

会社概要

レイエイトエナジー株式会社: 日本全国で系統用蓄電池発電所の開発・長期保有・運営を行う蓄電事業会社。ロンドン証券取引所に上場する大手グローバル・オルタナティブ資産運用会社 ICG を過半数株主とし、日本を代表する蓄電事業プラットフォームを目指す。特別高圧の大規模蓄電池案件の全国での開発を主軸とし、稼働資産への選択的な投資によりこれを補完する。本取得の稼働中 4 拠点に加え、現在全国で開発・建設中の案件は 12 件、パイプライン規模は約 1.5GWh。

Second Foundation: エネルギー分野のテクノロジー企業であり、欧州最大級の電力スポットトレーダー。チェコ・プラハに本社を置き、世界 30 以上の市場で事業を展開するほか、東京にトレーディング拠点を有する。独自開発のソフトウェアと高度なアルゴリズムを活用し、世界のエネルギー転換の加速に取り組む。アナリスト、エンジニア、データサイエンティスト、テクノロジー専門家など 550 名のチームが、世界で約 5GW の再生可能エネルギーおよび調整力資産を運用してい

る。また、大規模な系統用蓄電池(BESS)の開発・最適化も手掛けており、日本では約 400MW のプロジェクトを有する。

Green Giraffe Advisory: 再生可能エネルギーおよびエネルギー転換インフラに特化した独立系ファイナンシャル・アドバイザリー会社。同分野のディベロッパー、投資家、レンダーに対し、M&A、プロジェクトファイナンスおよび戦略アドバイザリーサービスを提供している。